

安倍政権における法匪の存在等に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四条によつて提出する。

平成二十七年九月二十五日

小西洋之

参議院議長 山崎 正昭 殿



安倍政権における法匪の存在等に関する質問主意書

一 いわゆる法匪とはどのようなものであると安倍内閣は認識しているか。また、歴史上の人物で、安倍内閣が法匪であると認識する人物を示されたい。

二 横畠裕介内閣法制局長官は法匪なのか。もし、同長官が法匪ではないとすると、古今東西歴史上のいかなる人物が法匪に該当すると考えるのか。

三 去る九月十五日の参議院我が国及び国際社会の平和安全法制に関する特別委員会における中央公聴会においては、元最高裁判所判事の公述人より、安倍内閣の昭和四十七年政府見解の中に限定的な集団的自衛権行使の法理が存在するとの主張は法匪的発想である旨等の指摘を受けているが、これについて政府の見解を示されたい。

右質問する。

